

令和6年度 学校教育努力点

1 主 題

自分で見付け、自分で決め、自分で学ぶよもぎの子

2 主題設定の理由

本校は昨年度、「主体的に学びに向かうよもぎっ子の育成」を主題として、実践に取り組んだ。児童が主体的に学びに向かえるよう、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を意識した授業づくりの研究を進めた。学習形態・少人数指導・教材の工夫・ICT機器の活用などを取り入れて実践に取り組んだ結果、各教科・領域における、個別最適な学びや協働的な学びを意識した授業づくりについて、一定の成果を上げることができた。

令和6年度からは、本校でも「ナゴヤ学びのコンパス」に基づいた教育活動を行うが、学びのコンパスには、目指したい子どもの姿として「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」とある。これは、昨年度まで、本校が取り組んできた実践と大きく関わりがあり、今年度も、基本的な方向性は継続していこうと考える。

一方で昨年度は、個別最適な学びや協働的な学びの本質を教職員間で十分に共通理解できず、学習形態の工夫・少人数指導・教材の工夫・ICT機器の活用といった指導の手立てを取り入れることが目的となっている実践も見られた。また、単元全体のねらいを見通した、指導計画の作成についても課題が残った。

これらのことを踏まえ、今年度は、「自分で見付け、自分で決め、自分で学ぶよもぎの子」を主題とし、「自由進度学習」に重点を置いて、研究を進めていく。自由進度学習における「課題選択型」、「時間設定型」、「目標設定型」の3つの型を取り入れた授業づくりを行うことで、児童が自ら学びたいことを見付けたり、学び方や学ぶ内容を自分で決め、学びの見通しをもったりできるようにしていく。3つの型を取り入れることを目的とするのではなく、単元全体を通したねらいを見据え、単元計画を十分に検討し、どの型を取り入れることが児童の自律した学びにつながるかを検討する。

3 指導方法

